

1990年から続く一般の方を対象とした哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

2021年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	5月 8日 [土] 午後1時30分	日本における終末期ケアと死生観 —コロナ禍の中で考える—	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋
②	7月 3日 [土] 午後1時30分	神秘主義思想家ヤーコプ・ベーメの生涯とその時代	放送大学 山口学習センター所長 山口大学名誉教授 岡村 康夫
③	7月 4日 [日] 午前10時	ヤーコプ・ベーメの思想 —無底と戯れ—	
④	7月17日 [土] 午後1時30分	死の形而上学 —エピクロスによる死の分析を起点に—	金沢大学教授 人間 社会学域文学類長 三浦 要
⑤	9月18日 [土] 午後1時30分	災害の倫理 (1) 安全と自由	京都大学准教授 児玉 聡
⑥	9月19日 [日] 午前10時	災害の倫理 (2) 緊急事態と資源配分	
⑦	10月23日 [土] 午後1時30分	「デザイン思考」を考える	北陸先端科学技術大学院大学 理事・副学長 永井 由佳里
⑧	12月11日 [土] 午後1時30分	鈴木大拙の境涯	鈴木大拙館館長 大谷大学元学長 木村 宣彰
⑨	2022年 3月19日 [土] 午後1時30分	京都学派の二人の創設者 —西田幾多郎と田辺元の出会い—	関西学院大学名誉教授 嶺 秀樹
⑩	3月20日 [日] 午前10時	西田・田辺論争 —批判と応答—	



1回からでも
気軽に参加
できる！

※石川県民大学校連携講座として、各回2単位を取得できます。必要な方は受付で学びカードをご提示ください。
※かほく市民大学校の対象講座として、各回1単位を取得できます。必要な方は受付で受講カードをご提示ください。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。今後の感染状況によっては
変更・中止となる場合があります。ご来場の前にホームページをご確認ください。

受講料 1回:500円、年間:2,000円

会 場 石川県西田幾多郎記念哲学館

申込方法 住所・氏名(フリガナ)・電話番号を、葉書・電話・
FAX・E-mailなどにて右記までお申し込みください。
〔各回受講〕各講座の1ヶ月前から受付を開始します。
〔年間受講〕申し込みは随時受け付けております。

※各回受講から年間受講への変更はできませんので、ご注意ください。
※講座が中止になった場合、年間受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。
※個人情報、当館主催事業または県民大学校に関する目的以外には使用しません。

お問い合わせ



石 川 県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
http://www.nishidatetsugakukan.org/



2021年度
西田幾多郎哲学講座

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学特任教授

① 5月8日【土】午後1時30分
日本における終末期ケアと死生観 ―コロナ禍の中で考える―

■講師、講座の紹介

これまで当たり前にできていたケアや看取りができない―コロナ禍の中で終末期ケアは危機に直面しています。人生最後の時期をどう生きるべきなのか、そこに医療や看護がどう関わるべきなのか。今、転換の時期を迎えているようにみえる終末期ケアと死生観の変化の歴史を、西田の場所の思想から読み解きます。

■専門分野

西田哲学、死生学

■主な著書・論文

『二人称の死―西田・大拙・西谷の思想をめぐる』(春風社)

岡村 康夫 放送大学・山口学習センター所長、山口大学名誉教授

② 7月3日【土】午後1時30分
神秘主義思想家ヤーコブ・ベーメの生涯とその時代

③ 7月4日【日】午前10時
ヤーコブ・ベーメの思想 ―無底と戯れ―

■講師、講座の紹介

ヤーコブ・ベーメは17世紀ドイツの神秘主義思想家です。宗教改革の混乱とペスト禍の蔓延する厳しい時代に、靴屋や行商人を生業として家族を養い、生涯を送りました。キリスト教信仰の真摯な生活の中で神秘的経験に出会った彼の生涯とその時代、そして「無底」と「戯れ」という彼の思想のキーワードを巡ってお話させていただきます。

■専門分野

ドイツ神秘主義

■主な著書・論文

『無底と戯れ―ヤーコブ・ベーメ研究』(昭和堂)
『シェリング哲学の蹟き―『世界時代』の構想の挫折とその超克』(昭和堂)

三浦 要 金沢大学教授 人間社会学域人文学類長

④ 7月17日【土】午後1時30分
死の形而上学 ―エピクロスによる死の分析を起点に―

■講師、講座の紹介

常識的には死は極めて恐ろしいものでしょう。ところが古代ギリシャの哲学者エピクロスは、死がやって来た時、われわれはもはや存在しないのだから「死はわれわれにとってなにもものでもない」と主張しました。私たちの常識には反するけれども、強力な説得力を持っているように見えるエピクロスの思想を手掛かりに死について考えます。

■専門分野

初期ギリシャ哲学

■主な著書・論文

『パルメニデスにおける真理の探究』(京都大学学術出版会)

児玉 聡 京都大学准教授

⑤ 9月18日【土】午後1時30分

災害の倫理 (1) 安全と自由

⑥ 9月19日【日】午前10時

災害の倫理 (2) 緊急事態と資源配分

■講師、講座の紹介

今、世界は新型コロナウイルス感染症の流行という大きな災害に巻き込まれ、様々な倫理的問題に直面しています。外出自粛のような個人の自由の制限、同調圧力、呼吸器やワクチンの配分、緊急事態における正義、など。災害の中で浮かび上がってきた、自由や公平に関する諸問題について考えます。

■専門分野

生命倫理学、近代の英米倫理思想史

■主な著書・論文

『実践・倫理学―現代の問題を考えるために』(勁草書房)

永井 由佳里 北陸先端科学技術大学院大学 理事・副学長

⑦ 10月23日【土】午後1時30分

「デザイン思考」を考える

■講師、講座の紹介

人は様々なことを思い、考えながら生きています。それも、単に推論をするだけでなく、創造的に。講師の永井先生は、武蔵野美術大学でミニマル・アートを研究し、「作品が創造される過程」に関心を持ったことがきっかけで、思考過程の研究に進まれました。永井先生の研究を通じて、「デザイン思考」について考えます。

■専門分野

知識科学、デザイン学

■主な著書・論文

“A sense of design: The embedded motives of nature, culture, and future”

木村 宣彰 鈴木大拙館館長、大谷大学元学長

⑧ 12月11日【土】午後1時30分

鈴木大拙の境涯

■講師、講座の紹介

大拙はいろいろなものを書き、また大拙についていろいろな文章が残されていますが、そうした書かれたものを読むだけでは、彼の本当の境涯を明らかにすることはできないかもしれません。大拙はどこに腰を据えていたのか、どこに自分の心を置いていたのか。鈴木大拙館の木村館長にその境涯についてお話させていただきます。

■専門分野

仏教学

■主な著書・論文

『中国仏教思想研究』(法蔵館)

嶺 秀樹 関西学院大学名誉教授

⑨ 2022年3月19日【土】午後1時30分

京都学派の二人の創設者 ―西田幾多郎と田辺元の出会―

⑩ 2022年3月20日【日】午前10時

西田・田辺論争 ―批判と応答―

■講師、講座の紹介

田辺元は西田幾多郎に請われて京都大学哲学講座の後任となった哲学者です。当初、西田哲学に共感を抱いていた田辺ですが、幾多郎退官後の1930年、論文「西田先生の教えを仰ぐ」を発表して西田哲学の批判を開始。西田・田辺論争は二人の思想が発展するきっかけになりました。幾多郎のライバル、田辺元についてお話させていただきます。

■専門分野

ハイデガー、ドイツ観念論、日本哲学

■主な著書・論文

『西田哲学と田辺哲学の対決―場所の論理と弁証法』(ミネルヴァ書房)